

《これまでの取組と生徒の実態》

中学校

- ・実践的なコミュニケーション能力を育成するために、生徒がより多くの英語を用い、より多くの仲間とかかわる活動を仕組むことができた。
- ・「読むこと」「書くこと」にも目を向け、総合的にコミュニケーション能力を養うことが大切であることが明らかになった。
- ・課題解決的な活動を仕組み、生徒に充実感や更なる意欲をもたせる活動を仕組んでいくことが必要である。

高等学校

- ・中学校の授業を参観することにより、きめ細かな配慮、個別指導への仮説等、高校の指導に活かせる視点を多くもつことができた。
- ・外部講師を招聘して、臨場感のある活動を仕組むことができた。
- ・中学校との共同研究をさらに充実させ、中学校で身に付ける力を理解し、その流れの中でどのような力をどのように付けていくか、あるいは伸ばしていくかを明確にしていく必要がある。

実践推進上大切にしていきたいこと、明らかにしたいこと

○ 実践的コミュニケーション能力を育成する指導の在り方

- ・「聞く・話す」能力の育成に結ぶ単元構成の在り方(4領域のバランスを考慮して)
- ・生徒が意欲的に取組むことができ、「聞く・話す」活動に重点を置いた単位時間の指導の在り方

平成16年度の具体的取組内容

【中学校】

〈研究テーマ〉  
かかわり合い、相互理解を深めるコミュニケーション活動の在り方

① 指導計画の工夫

「聞く・話す」能力の育成を目指しつつ、そのために「読む」「書く」活動も効果的に位置付け、確かな基礎的・基本的能力を培う単元構成を工夫する。

② 意欲的に取り組める言語活動の工夫

自分の思いや、自分の身の回りにある実際のことを発信したり、交流したり、情報交換したりするコミュニケーション活動を設定するとともに、自分の学習の足跡を残し、伸びを自ら自覚できるよう工夫する。

③ 基礎・基本の定着のための工夫

音声重視のコミュニケーション活動が、より自発的で实际的、実践的な言語活動となるよう、必要な基礎的・基本的事項を洗い出し、「読む」「書く」活動を意図的に設定する。

【高等学校】

〈研究テーマ〉  
授業をよりコミュニケーションにする方法

① 指導計画の工夫

題材の読み取りや、自分の考えを書くことをねらう単元においても意図的に「聞く・話す」音声重視の活動を位置付けた単元構成を工夫する。

② 意欲的に取り組める言語活動の工夫

読んだり、聞いたりしたことがらについて、反応したり、自分の意見を述べて交流したりする活動を位置付け、音声により伝え合うことに習熟するとともに、その楽しさを味わう言語活動を生み出す。

③ 基礎・基本の定着のための工夫

語彙を増やしたり、文型・文法事項を身に付けていく過程において、適切な場面で適切に運用できることを実感できるような場を設定する。